ピコスポット（シミ取りレーザー）を受ける方へ
説明書・同意書

ピコ秒レーザーとは、ピコ秒（1ピコ秒＝1兆分の1秒）という短い時間レーザー光を照射する機械です。
照射時間が短い為、最大出力が大きくなり色素斑等のメラニンに対して瞬間的にエネルギーを伝えることができ、熱作用がないため、結果的に少ない回数での色調改善が期待されています。また,レーザー照射後の副作用（炎症反応や色素沈着）を軽度に抑えることが可能と考えられています。

◆治療が受けられない方・禁忌

・532nm・1064mmの波長域の光に過敏な方、又は光線過敏症のある方
・ケロイド、瘢痕体質の方・糖尿病などの内分泌疾患に罹患しており、創傷治癒に障害がある方
・免疫抑制を引き起こす疾患、免疫抑制剤使用中
・出血性疾患に罹患、抗凝固薬を内服中
・妊娠中、またその可能性がある方、授乳中の方
・発熱している、全身状態が芳しくない方
・光過敏性発作、光線過敏症に関連した疾患に罹患、既往歴のある方
・光過敏症を誘発する薬剤、外用薬、サプリメントを使用中
・肝斑がある方
・イソトレチノイン製剤（アキュテイン等）を内服、レチノイド類の外用薬を使用している場合
※ピーリング剤やトレチノイン、ディフェリン等のニキビ治療をされている方は施術2週間前から使用を中止して下さい。

◆治療を行えない部位

・感染性の皮膚疾患又は、切開創、開放創、炎症、化膿がある
・悪性腫瘍直上、単純ヘルペス 1型、2型の活動病変上
・1カ月以内の強い日焼け部位

◆治療前注意事項

・日焼けをした状態では熱傷リスクが高くなる為、照射することができません。SPF30以上の日焼け止めの使用・長袖・長ズボン等の着用で日焼けを予防してください。
※日焼けしてしまった場合には、日焼けが落ち着いてからの照射となります。
・照射部位に日焼け止めや化粧品（クリーム、化粧水含む）が残っていると、レーザーが成分に反応し熱傷を起こす可能があります。照射前には必ず落としてください。
・サンオイルを使用している場合は、1～2週間前より使用を控えてください。

◆治療中注意事項

・レーザー光から目を保護する為ゴーグルを着用します。照射中は外さないでください。目を閉じた状態でも眩しく感じることもありますが、眼に影響はありません。
・照射直後は痛みが強いので、アイスパック等でクーリングを行います。その後、専用テープ保護＋軟膏処置を行います。 ※治療当日は浸出液が出ることが多い為

◆治療後注意事項

・照射部位が腫れや赤みが残ることがありますが、一過性の症状であり1週間程度で軽快します。
1週間以上経過しても軽快しない場合は保険診療で受診をお願いします。
※診察は診療代がかかります。薬が処方される場合、別途薬代がかかりますのでご了承ください。
・赤み・腫れ・痒みが強い場合は来院してください。
・治療部位は掻いたりしないでください。皮膚を傷つけることで色素沈着になる可能性があります。
・当日はシャワーは可能ですが、入浴、飲酒、サウナ、激しい運動はお控えください。
・照射後1～2週間ほどで徐々にかさぶたが取れていき、ほんのりピンク色になります。無理にかさぶたを取ったり触ったりしないで下さい。
・患部が落ち着くまでの1～2カ月間は紫外線対策・保湿対策をしっかりするようにして下さい。
・色素沈着しないように、予防のために落ち着いてから最低でも2週間後からのハイドロキノンの使用も効果的です。
・治療期間中の日焼けは避けて下さい。日焼け予防対策を必ず日常的に行ってください。
・当日はメイクはできますが、テープ部分をさけてなるべく刺激しないようにしてください。
・ピーリング剤やトレチノイン・ディフェリンの治療をされている方は施術後、刺激症状が消失し、かつ施術1週間を経過してから開始してください。

◆合併症について

【色素沈着】擦れやすい・日焼けしやすい箇所は色素沈着のリスクが高くなります。
【色素脱失】色調が濃い場合は熱損傷や頻回の治療を行う事により発生します。
【瘢痕】元の体質や、出力、短期間の照射間隔にてリスクが増大します。
【その他合併症】痂皮形成、水泡形成、紫斑、紅斑、浮腫、掻痒感、炎症等。

★3カ月以内の美容施術歴のある方は必ずご記入ください

（　　）

Lumignon Clinic　多田昌平

私は、上記を理解し、レーザー治療を受けることに同意します。

年　　月　　日＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿